

東京大学ROLES世論調査

SAFER

(Security, Alliance, and Foreign Engagement Research project)

2026年3月



東大先端研

Research Center for
Advanced Science and Technology
The University of Tokyo

ROLES

東京大学ROLES世論調査 - 2026年3月号

Security, Alliance, and Foreign Engagement Research (SAFER) project

著者 : 合六強*, 飯田 健**, 鍛冶 一郎†, 小泉 悠†, 中井 遼†

* 二松学舎大学, ** 同志社大学, † 東京大学

発行元 : 東京大学 先端科学技術研究センター 創発戦略研究オープンラボ(ROLES)



東京大学 先端科学技術研究センター
Research Center for Advanced Science and Technology
The University of Tokyo



2026年3月3日発行

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp> / X: @roles_hq / FB: @roleshq

本調査は科学研究費補助金基盤研究B24K00220「有権者の安全保障政策選好と投票行動（研究代表者：飯田健）」の助成を受けて実施されました。
表紙写真出典：AFP/アフロ インターン：村井琴音 本レポートの配色は英国政府機関の色覚多様性対応ガイドラインを参考にしています。

この調査の背景と目的

2024年8月に開始した本調査の目的は、日本の外交や安全保障、日本をとりまく国際情勢について人々がどのように考えているのかを明らかにすることにあります。これまでも同様のテーマに関する調査がメディアなどで実施されてきましたが、それらは特定の側面に焦点を当てたり、時機を捉えて行われてきました。日本をとりまく国際情勢が急速に変化する中で、国民がどのような認識を抱いているのかを把握し、長期的な視点から検討したり、他国での同様の調査と比較しながらより深い理解を目指しています。

第四回調査を終えて

前回（2025年8月）の調査と今回の調査の間に日本では首相が変わり、日本国民の外交・安全保障問題に対する認識において若干の変化が見られました。対米関係について変化が生じており、日米関係を良好とみる人の割合や日本政府の外交政策を支持する人の割合などが増加しています。有事の際の米国による武力介入に対する信頼にあまり変化はみられませんでした。引き続き、中国、ロシア、北朝鮮への脅威認識を背景に安全保障環境に対する不安感がある一方、武力の行使、日本の独自核開発、米国による核兵器国内配備に反対する声は高いままです。

今次調査は財政的制約により質問数が限られ通常より少ないページ数となっています。そのため本報告資料では付録として2026年衆議院選挙の支持政党別の意見分布も記載いたしました。

過去の調査: (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/publications?team=208>)

調査の詳細

調査名：東京大学ROLES世論調査（SAFER: Security, Alliance, and Foreign Engagement Research）

実査期間: 2月9日-12日, 2026年

サンプルサイズ: N=2146

誤差範囲: 2.11% (信頼水準95%)

実査手法: CAWI (Computer Assisted Web Interviewing)

対象者: 18歳以上79歳以下の日本国民

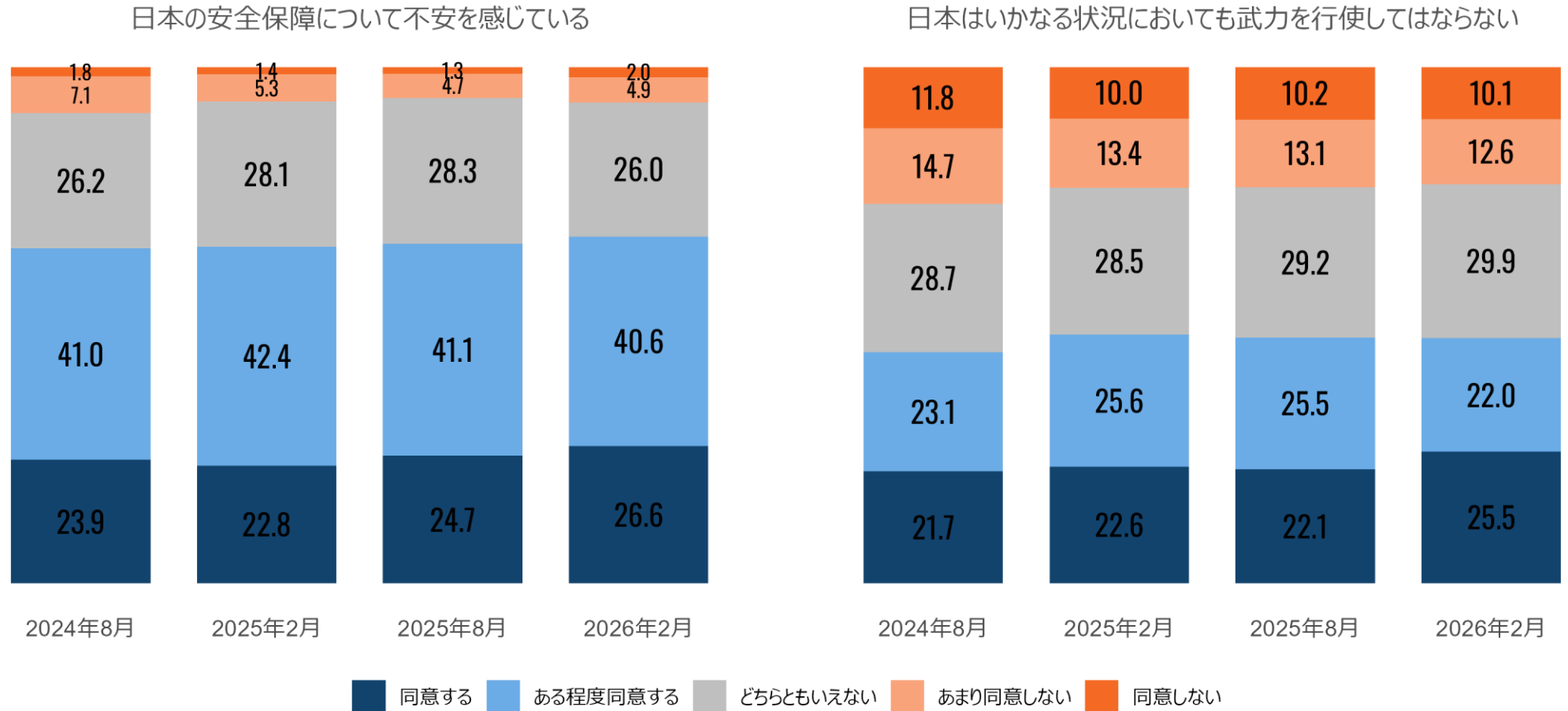
サンプリング手法：割付法

- ・ 割付: 国勢調査に基づき，性差，年齢階層，居住地域*で割り付け
*北海道/東北，関東，中部，近畿，中国，四国，九州/沖縄
- ・ サンプル：楽天インサイトに委託し、登録モニターに配信

本調査は東京大学倫理審査専門委員会の承認を受けて実施しています（審査番号23-363）

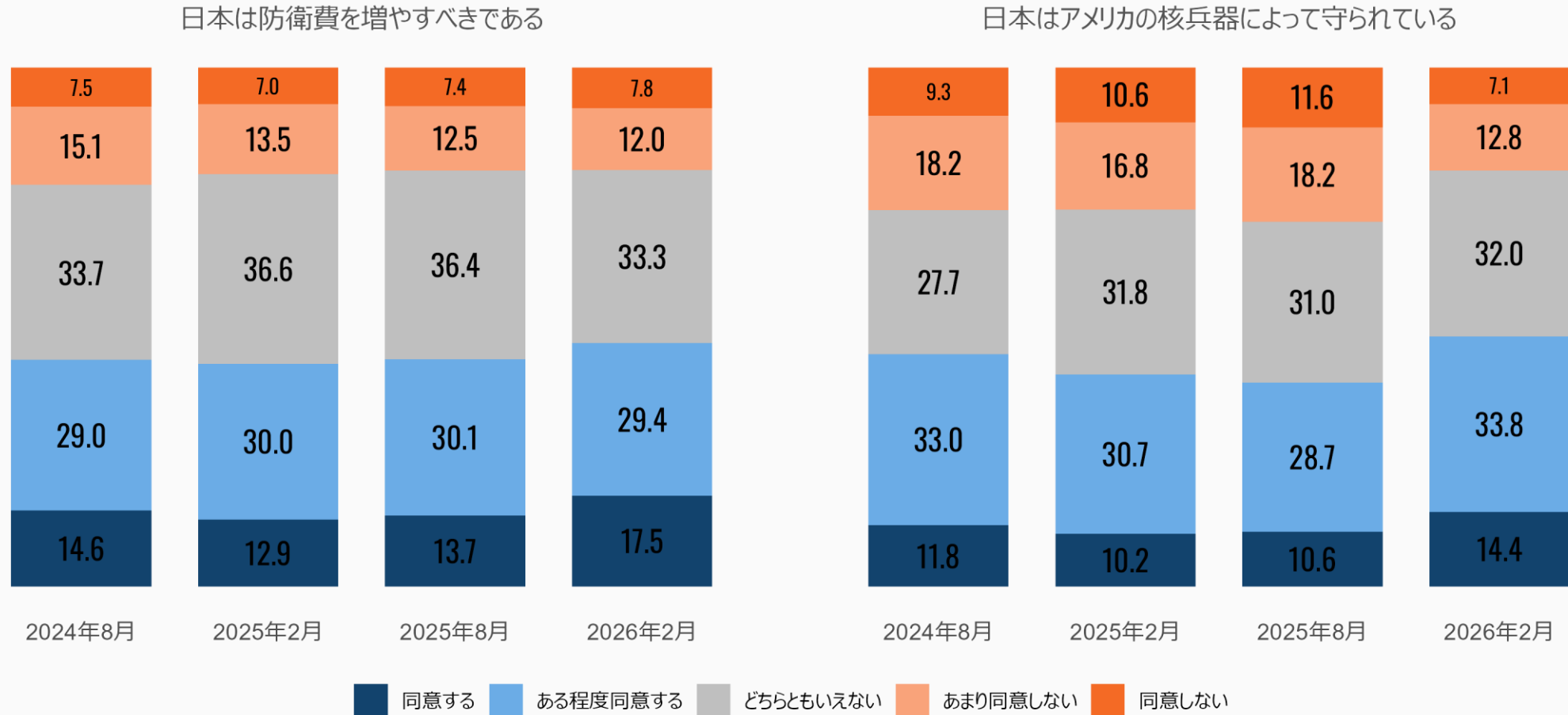
調査結果一覧

あなたは、以下の意見について同意しますか、それとも同意しませんか。(%) n = 2146



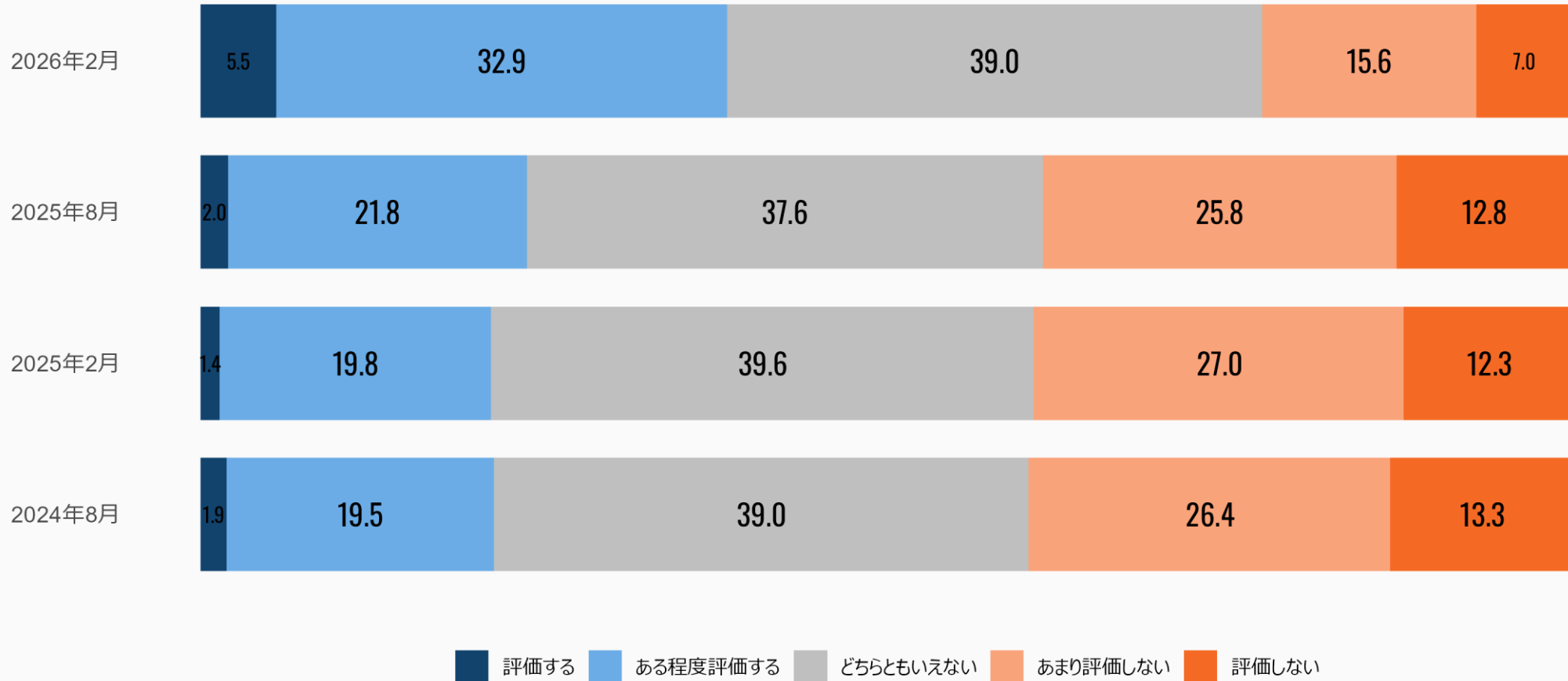
- 回答者の65%は、自国の安全保障について不安を感じている。
- いかなる状況でも武力行使してはならないと考える回答者は45%超であった。

あなたは、以下の意見について同意しますか、それとも同意しませんか。(%) n = 2146



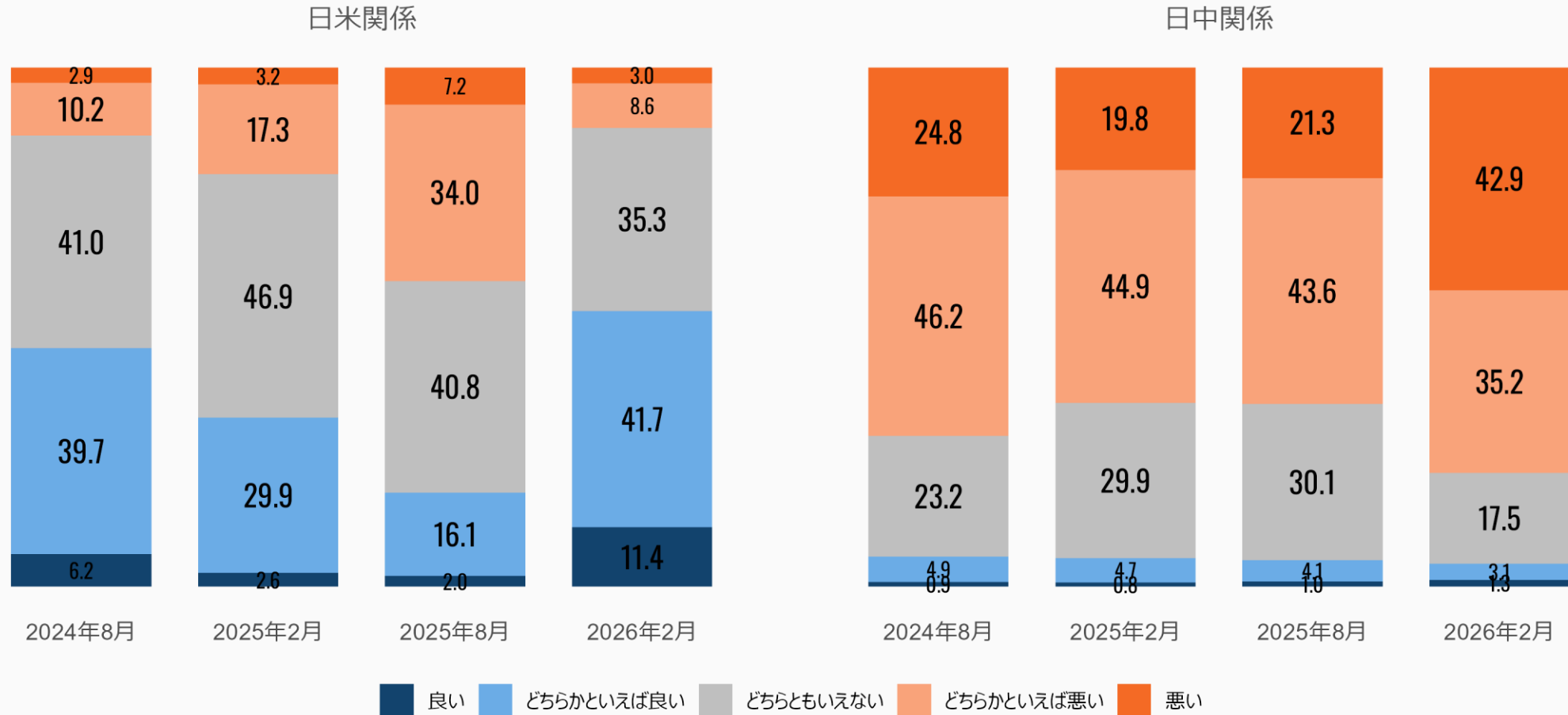
- 防衛費を増額すべきと考える割合は、増額すべきでないとする割合の約2倍である。
- アメリカによるいわゆる「核の傘」に守られていると評価している回答者の割合は、そのように評価しない回答者の割合を上回る。

あなたは、外交・安全保障問題全般について、現在の日本政府の対応を評価しますか、それとも評価しませんか。(%) n= 2146



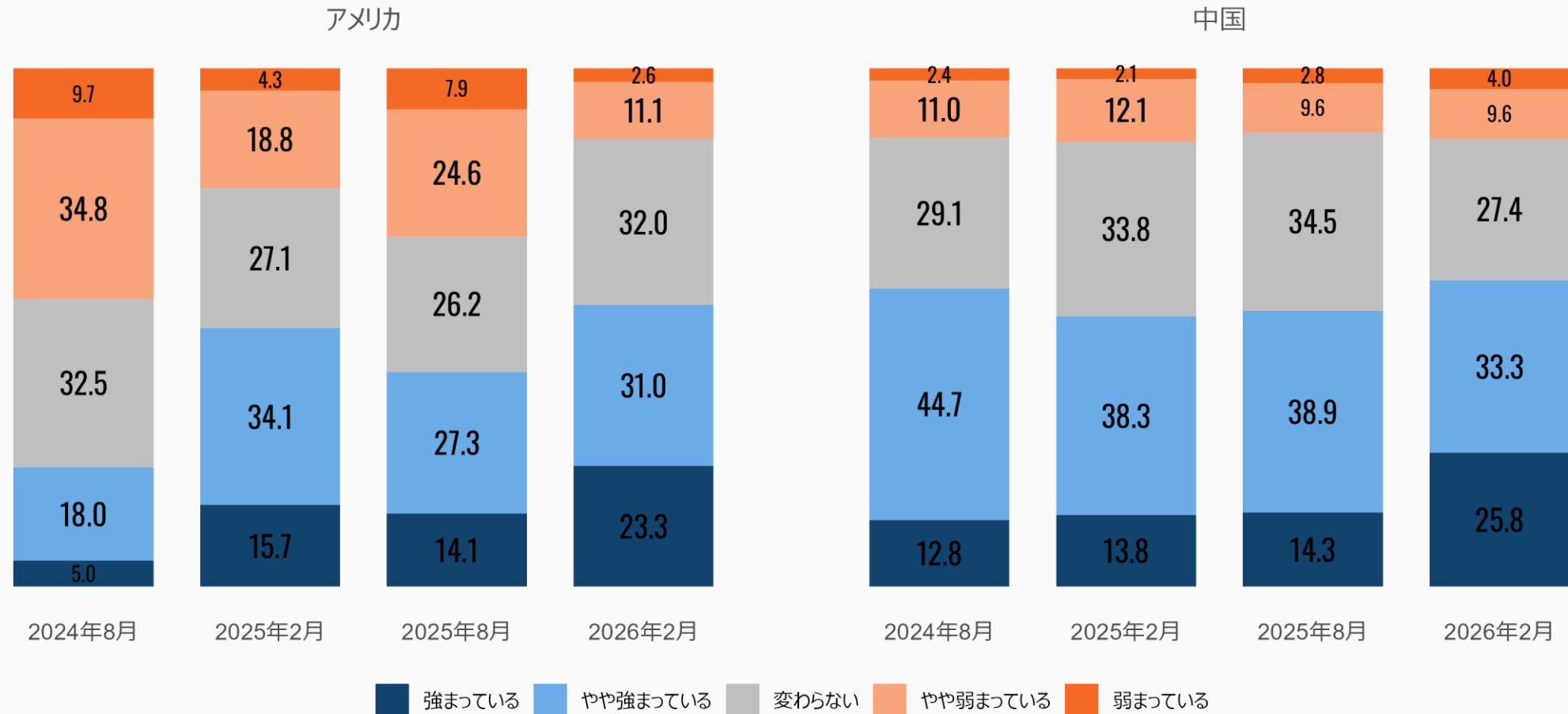
➤ 現在の日本政府の外交・安保問題への対応について、肯定的な評価の割合が否定的な評価の割合を上回っている。

あなたは、現在の日米／日中関係は良いと思いますか、それとも悪いと思いますか。(%) n = 2146



- 日米関係を良好とみているのは5割以上にまで上昇している。
- 日中関係は過半数が冷え込んでいるとみている。

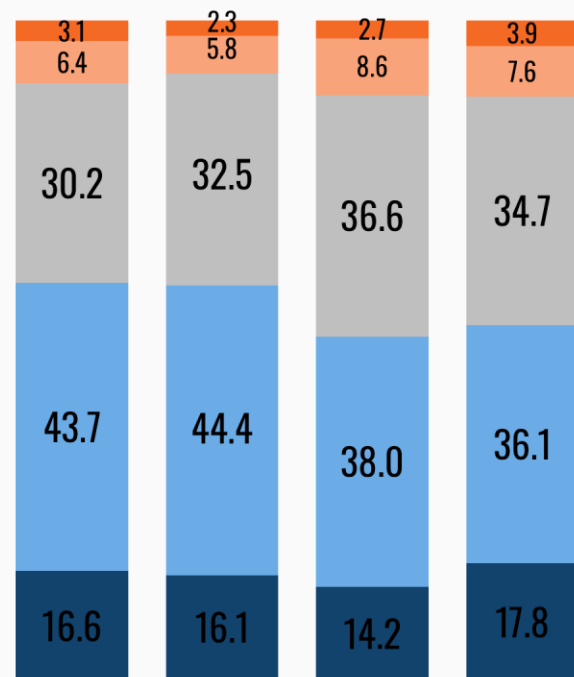
あなたは、アメリカ／中国の国際的な影響力は強まっていると思いますか、それとも弱まっていると思いますか。(%) n = 2146



➤ 前回調査よりも、アメリカの影響力が強まっているとする回答者の比率が増加している。

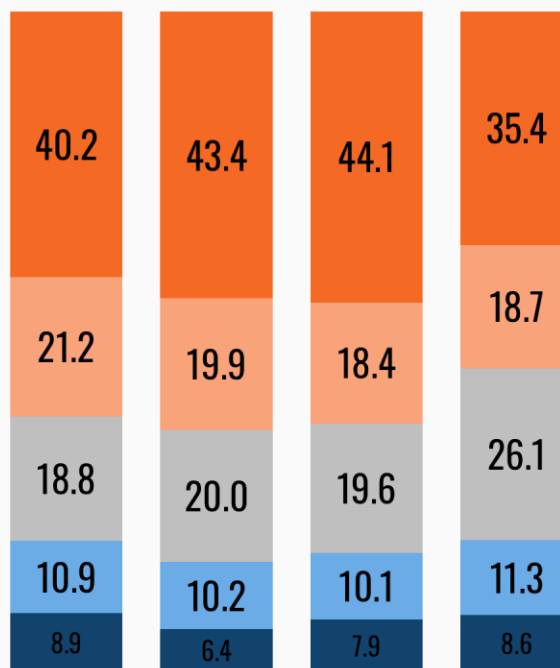
あなたは、以下の意見について同意しますか、それとも同意しませんか。(%) n = 2146

今後、日米間の同盟関係をさらに強めるべきである



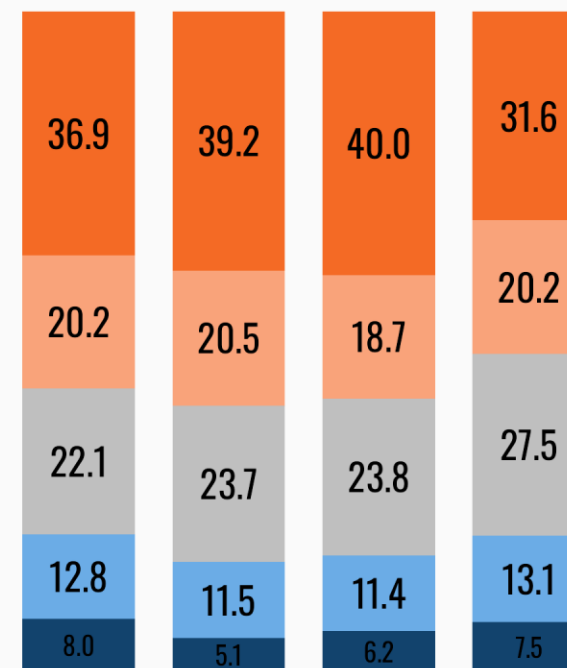
2024年8月 2025年2月 2025年8月 2026年2月

日本は核兵器を開発すべきである



2024年8月 2025年2月 2025年8月 2026年2月

米国の核兵器を日本国内に配備すべきである

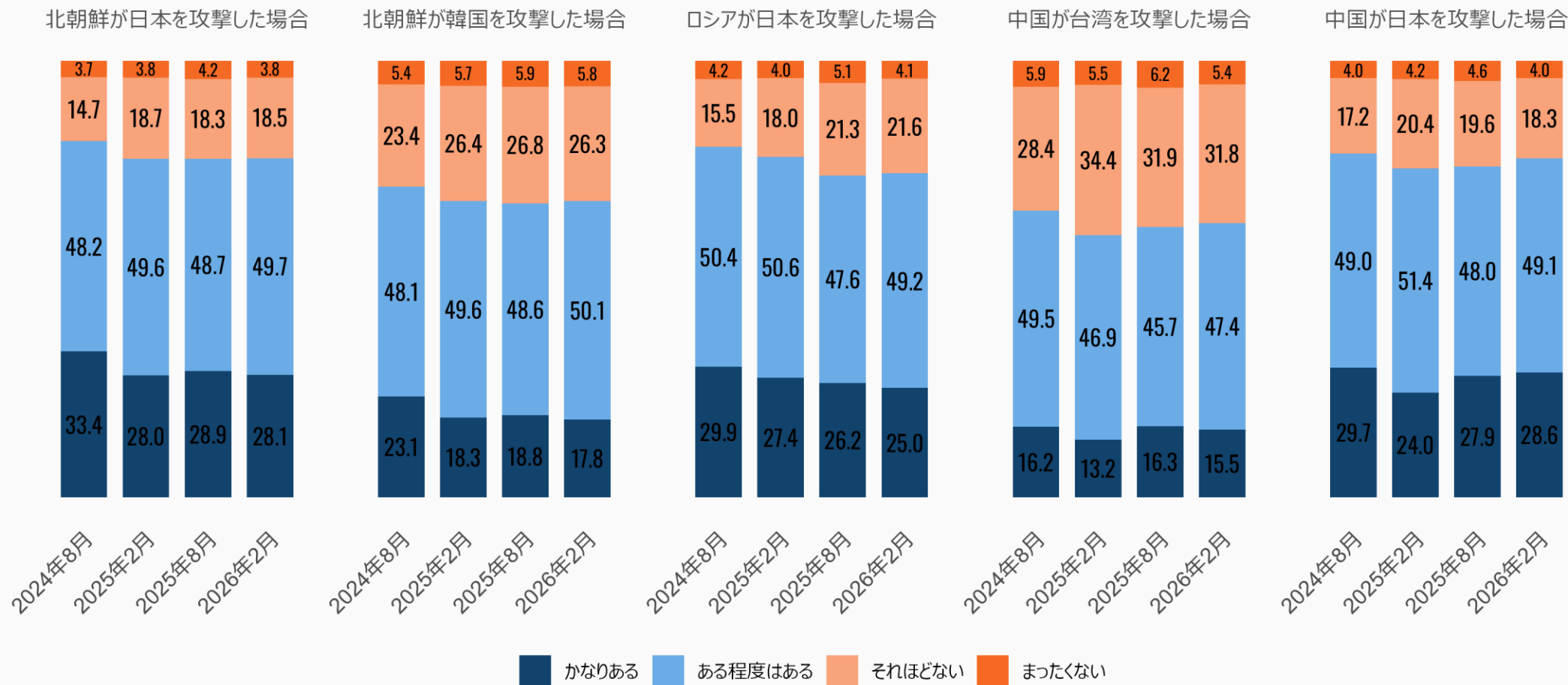


2024年8月 2025年2月 2025年8月 2026年2月

■ 賛成 ■ やや賛成 ■ どちらともいえない ■ やや反対 ■ 反対

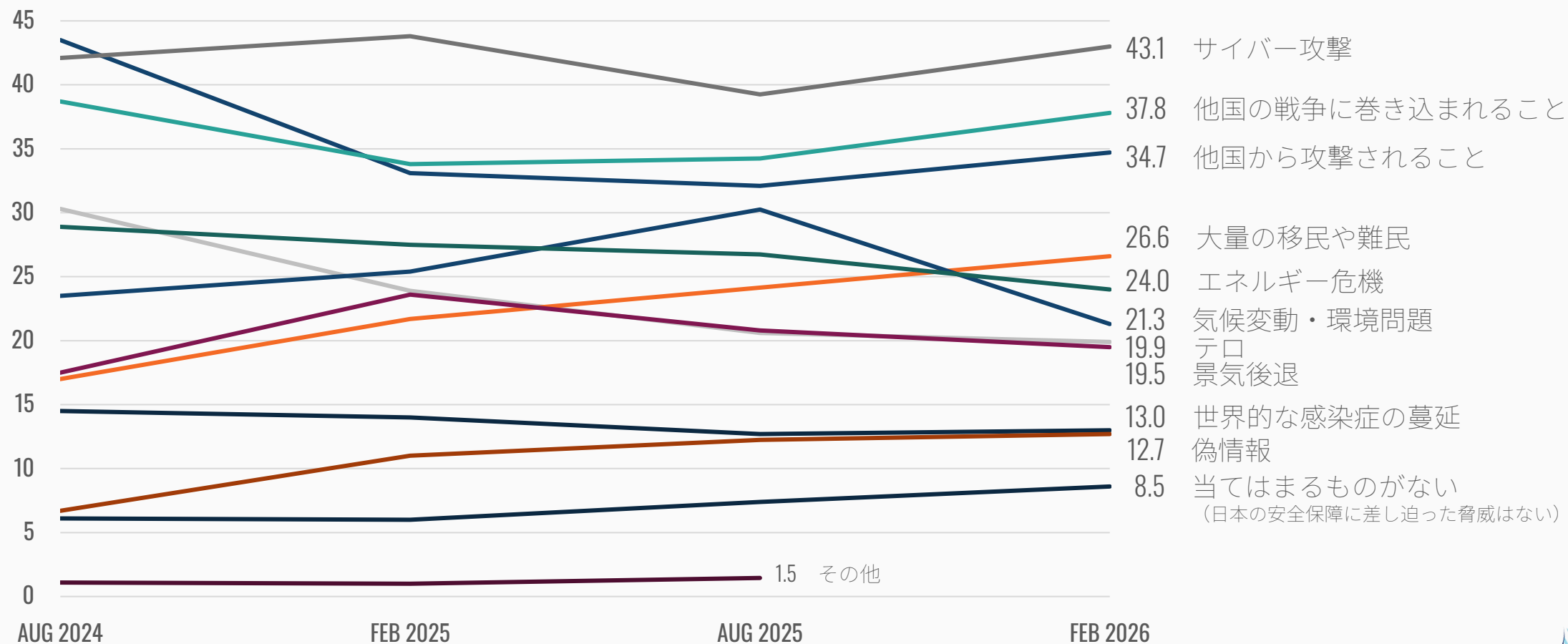
- 5割以上の回答者は、日本が独自に核兵器を開発すること、また米国の核兵器を日本国内に配置することに消極・反対姿勢をとっている。

アメリカは日本および韓国と同盟関係にあり、日本や韓国が他国から攻撃された場合、それらの国を防御するために武力介入することになっています。あなたは、以下の状況が起きた場合、アメリカが武力介入を行う可能性はどれくらいあると思いますか。(%) n = 2146



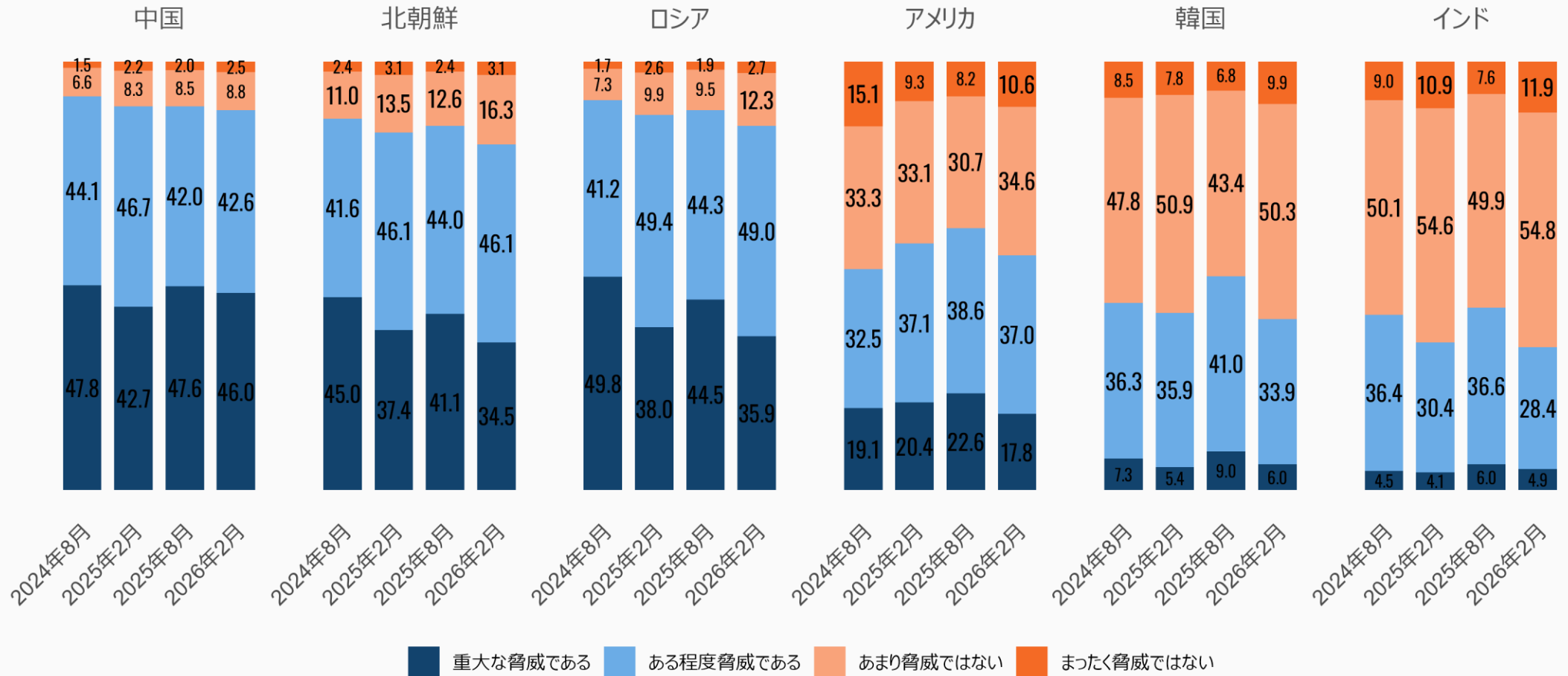
➤ 北朝鮮、ロシア、または中国が日本を攻撃した場合、回答者の過半数はいずれの状況でも、アメリカが武力介入してくる可能性が高いと判断している。

以下の選択肢のなかから、日本の安全保障にとって差し迫った脅威だとあなたが思うものを3つ選んでください。(3つまで) (%) n = 2146



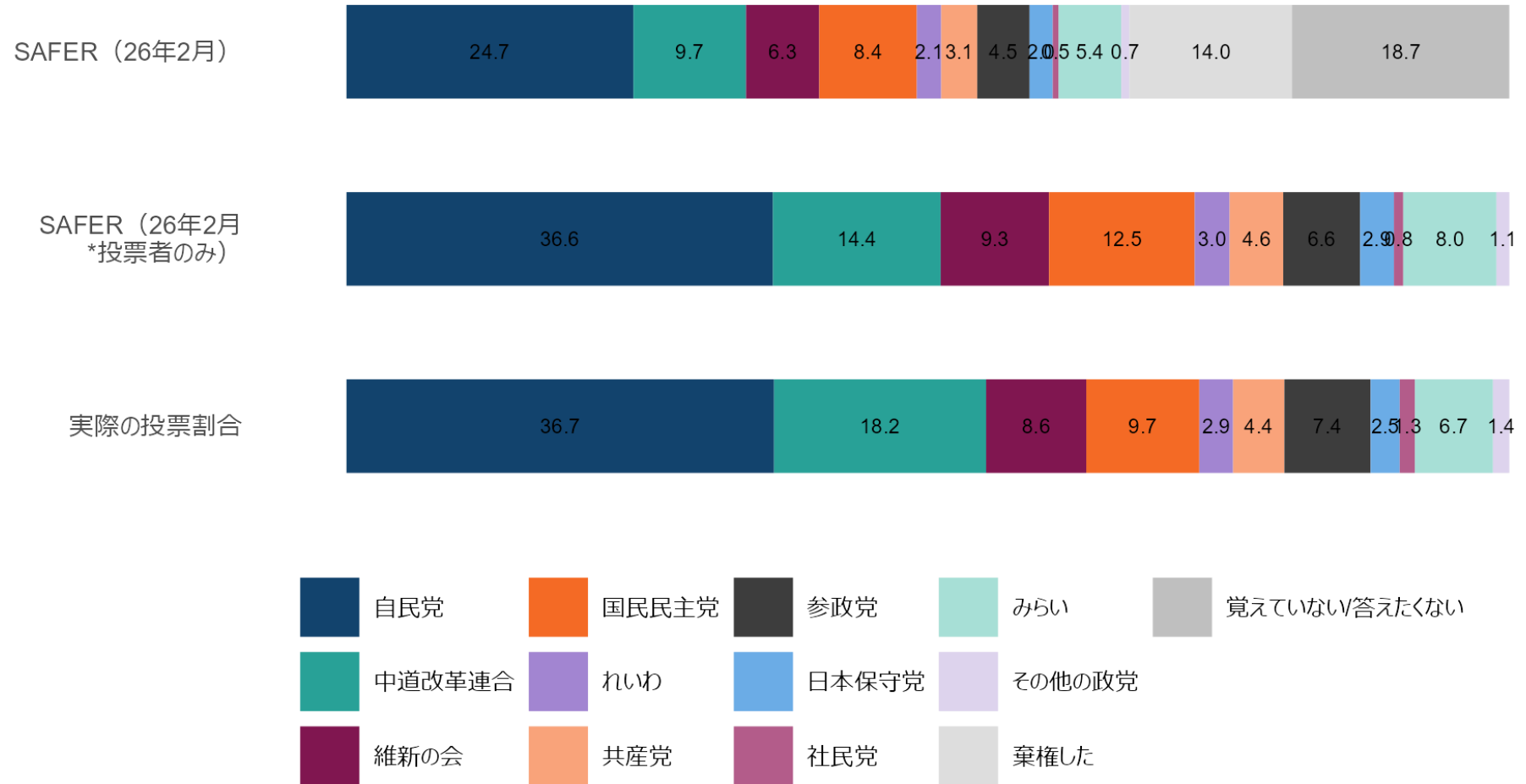
- 日本の安全保障にとって差し迫った脅威の上位3つは変わらない。
- 移民・難民を脅威とみなす回答者が増えている。

あなたは、以下の国々はそれぞれ日本の安全保障にとってどの程度の脅威だと思いますか。(%) n = 2146

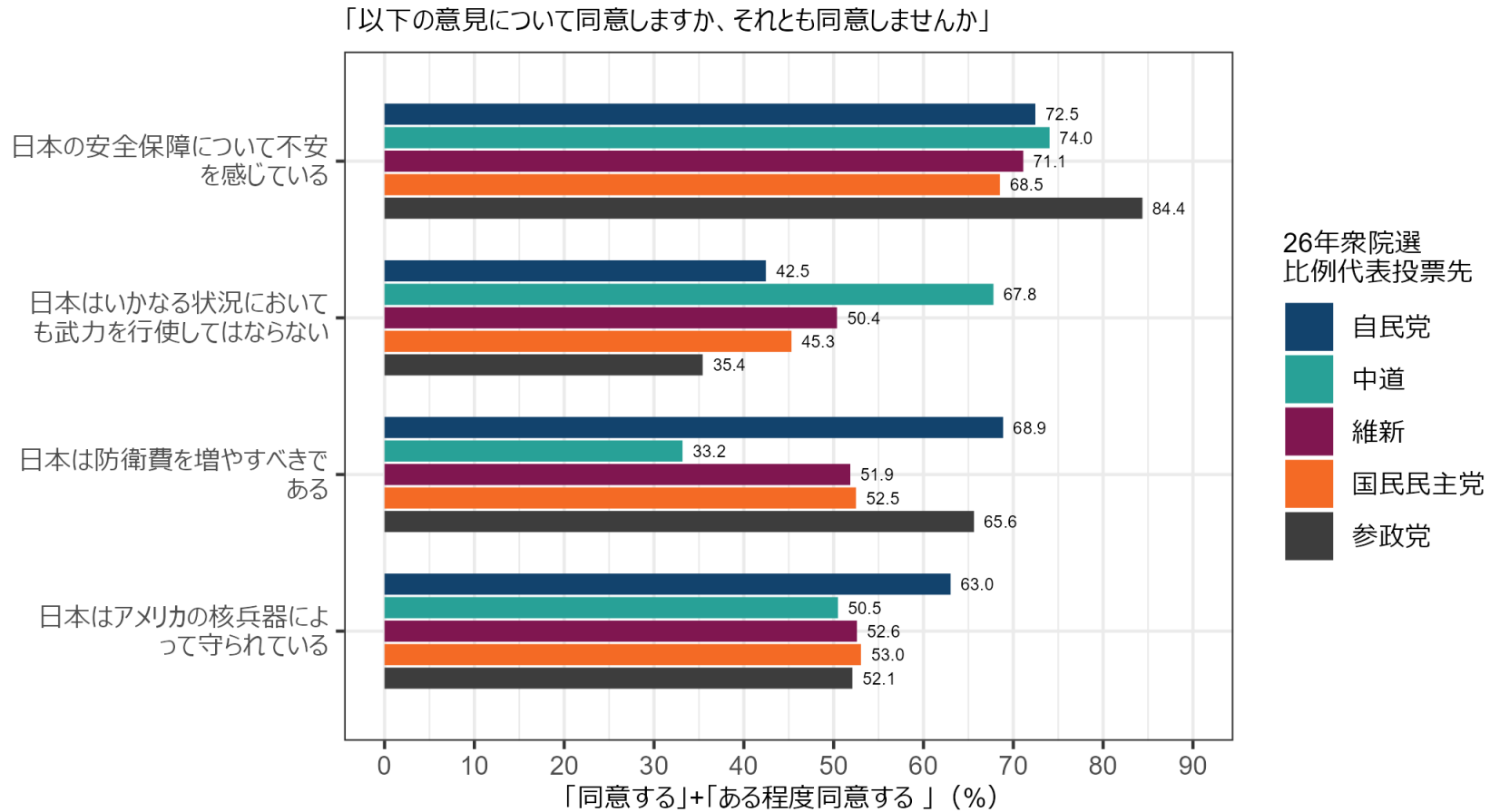


- 8割以上の回答者は、ロシア・中国・北朝鮮を日本の安全保障にとっての脅威だとみなしている。
- 約半数の回答者がアメリカを脅威と認識している。

付録：2026年衆議院選挙投票先政党（比例代表区）



付録：2026年衆議院選挙投票政党別の意見分布



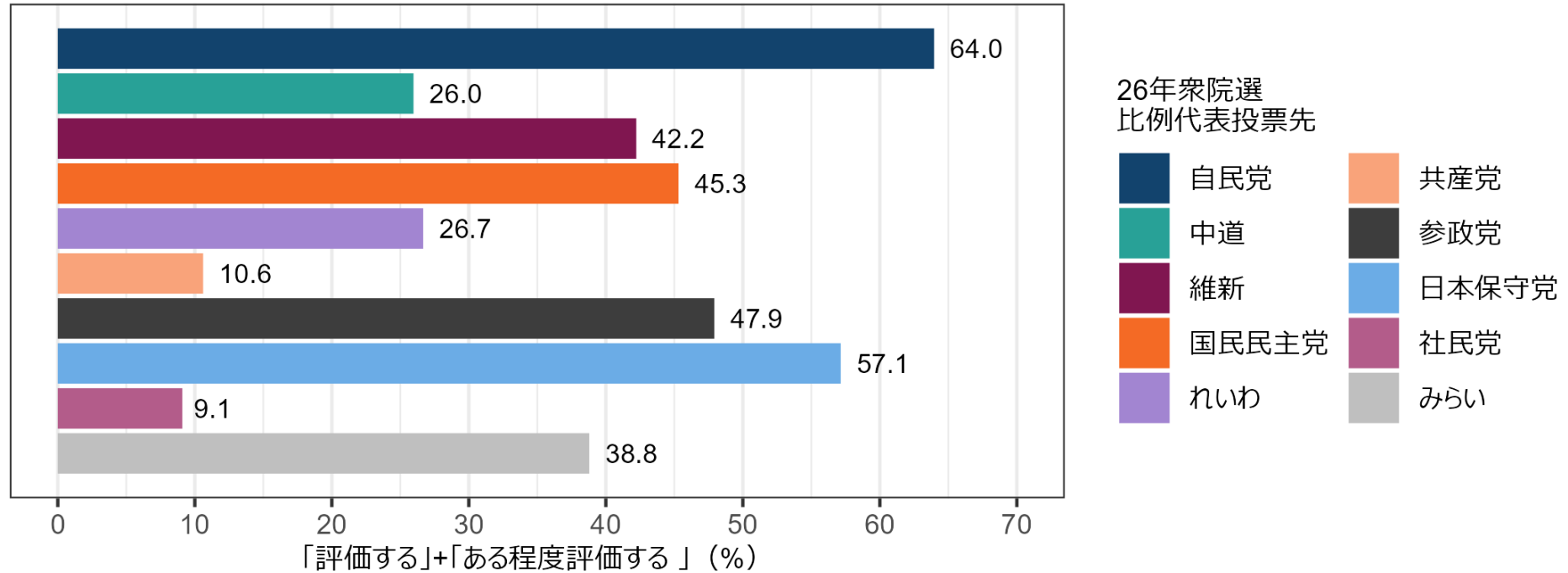
26年衆院選
比例代表投票先

- 自民党
- 中道
- 維新
- 国民民主党
- 参政党

注：回答選択肢には「どちらともいえない」を含む。

- 参政党投票者は他のグループと比べて安全保障について不安を感じている割合が高い。
- 中道投票者は他のグループと比べていかなる状況においても武力を行使してはならないという意見に同意する割合が高い。
- 中道投票者は他のグループと比べて防衛費増額に同意する割合が低い。
- 自民党投票者は他のグループと比べてアメリカの核兵器によって守られているという意見に同意する割合が高い。

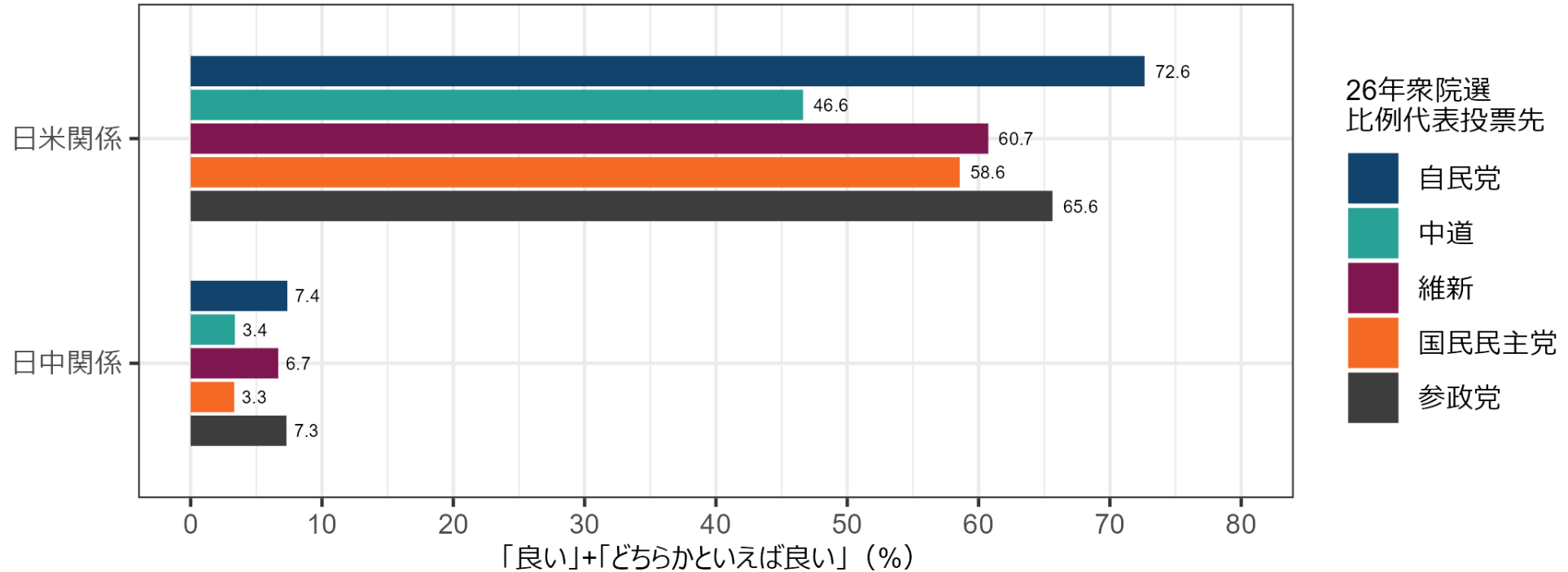
「外交・安全保障問題全般について、現在の日本政府の対応を評価しますか、それとも評価しませんか」



注：回答選択肢には「どちらともいえない」を含む。

- 自民党投票者と日本保守党投票者が外交・安保についての日本政府の対応を評価する割合が高い。

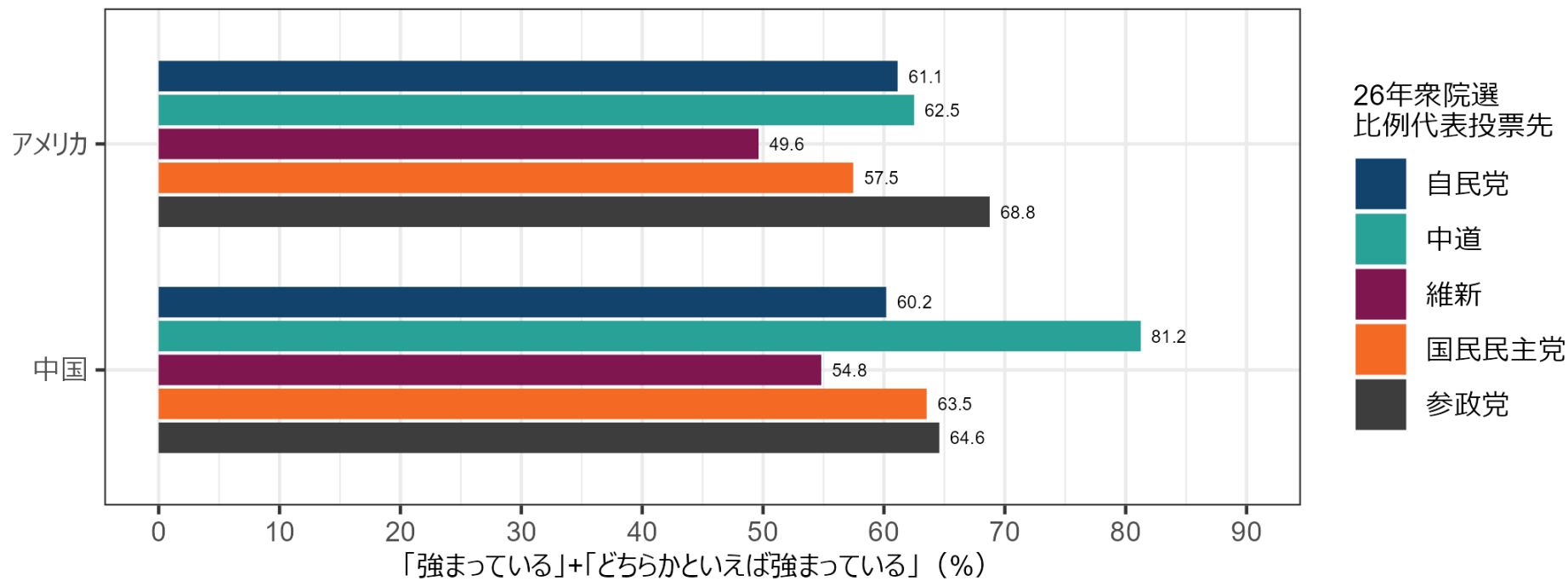
「あなたは、現在の日米関係、日中関係は良いと思いますか、それとも悪いと思いますか」



注：回答選択肢には「どちらともいえない」を含む。

- 自民党投票者は他のグループと比べて日米関係を良いと回答する割合が高い。
- 中道投票者は他のグループと比べて日米関係を良いと回答する割合が低い。

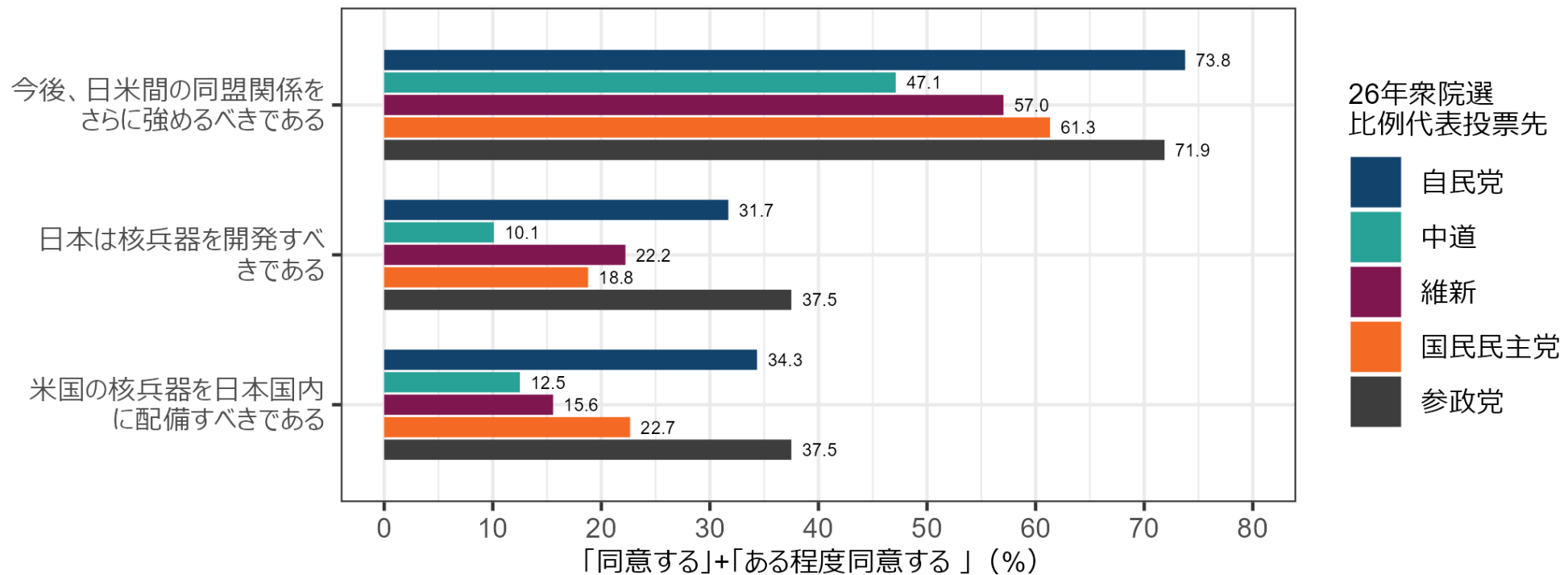
「アメリカと中国の国際的な影響力は強まっていると思いますか、それとも弱まっていると思いますか」



注：回答選択肢には「変わらない」を含む。

- 中道投票者は他のグループと比べて中国の影響力が強まっていると回答する割合が高い。

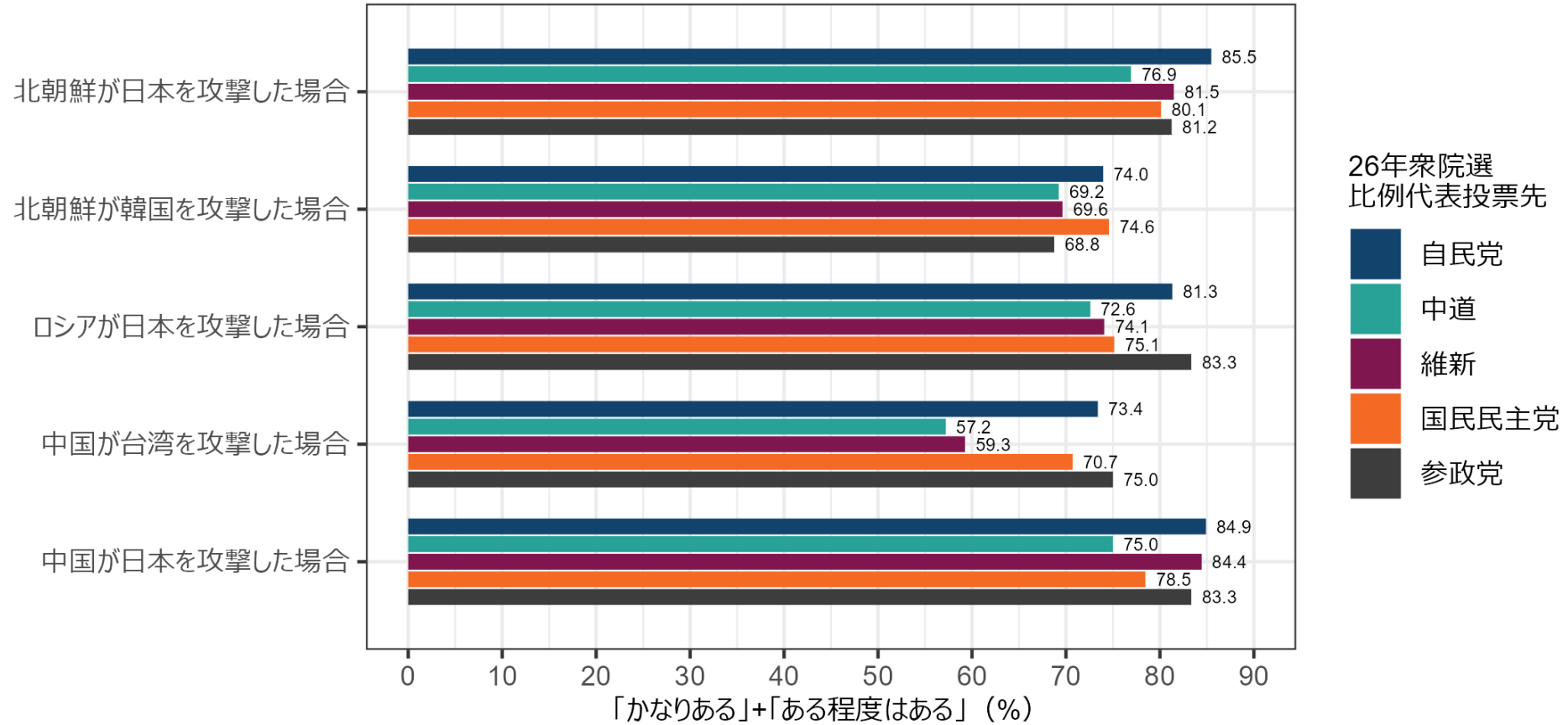
「以下の意見について同意しますか、それとも同意しませんか」



注：回答選択肢には「どちらともいえない」を含む。

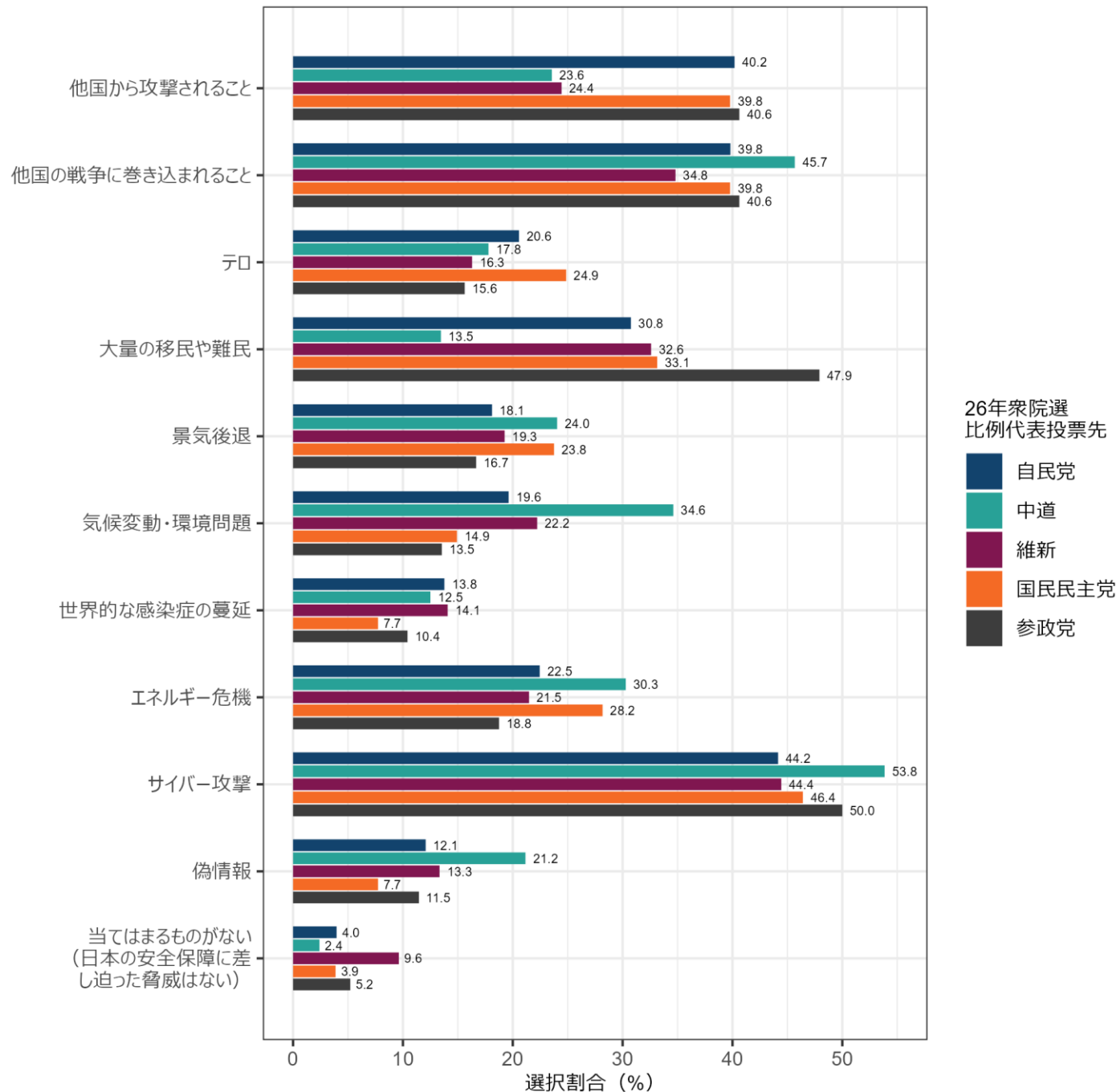
- 中道投票者は他のグループと比べて日米同盟強化、核兵器開発、アメリカの核兵器の国内配備に同意しない割合が高い。

「以下の状況が起きた場合、アメリカが武力介入を行う可能性はどれくらいあると思いますか」



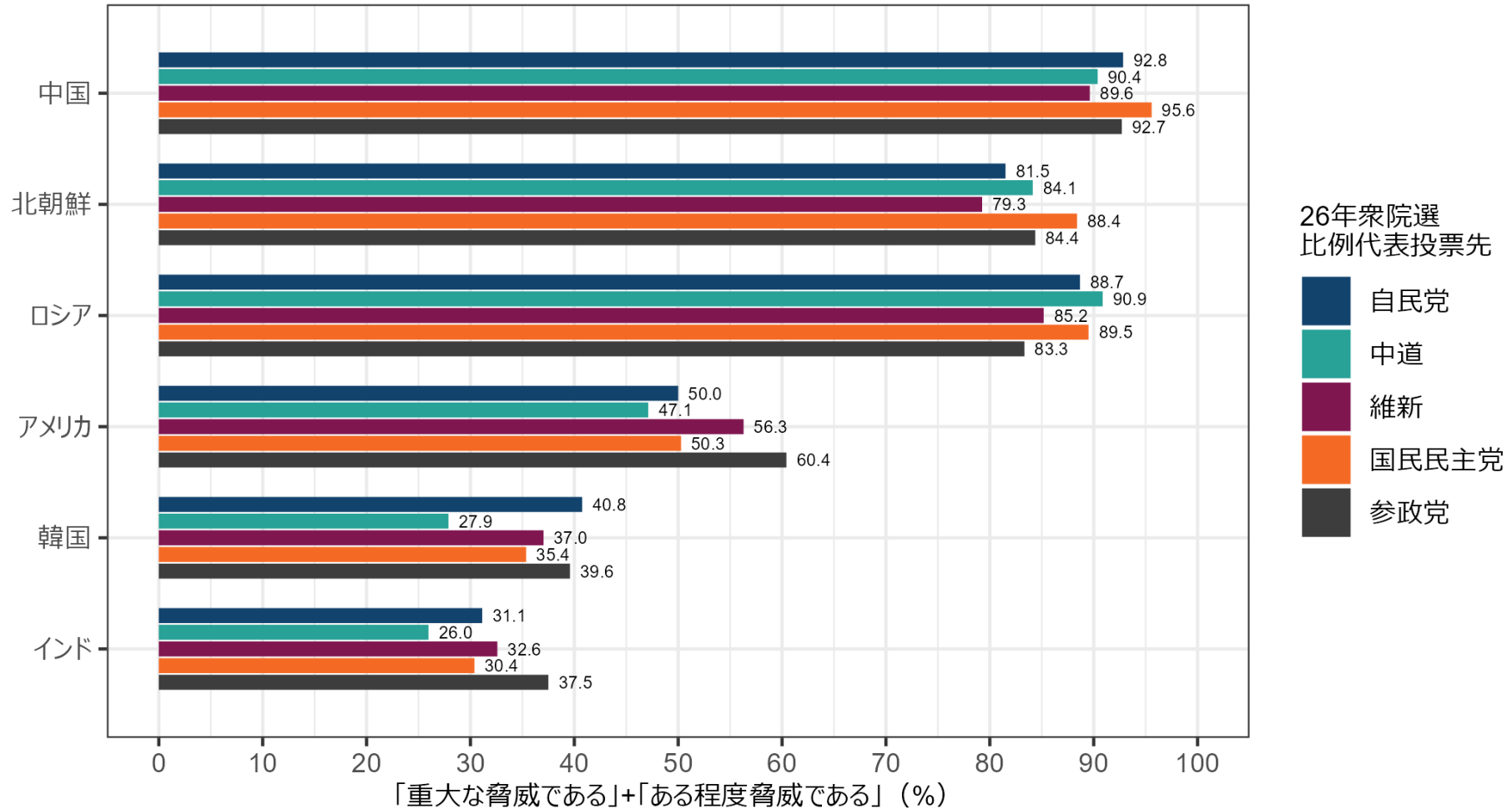
➤ 中道投票者と維新投票者は他のグループと比べて中国が台湾を攻撃した場合のアメリカの介入に悲観的。

「日本の安全保障にとって差し迫った脅威だとあなたが思うものを3つ選んでください。(3つまで)」



- 中道投票者は他のグループと比べて他国の戦争に巻き込まれること、気候変動・環境問題、サイバー攻撃、偽情報を差し迫った脅威だと回答する割合が高い。
- 参政党投票者は他のグループと比べて大量の移民や難民を差し迫った脅威だと回答する割合が高い。

「以下の国々はそれぞれ日本の安全保障にとってどの程度の脅威だと思いますか」



- 中道投票者は他のグループと比べて韓国、インドを脅威と思う割合が低い。
- 参政党投票者は他のグループと比べてアメリカを脅威と思う割合が高い。